

科目名	イメージアップ講座						
科目名(英)							
単位数	2	時間数	30	担当者	江口 美奈子		
実施年度	2020	実施時期	後期	担当者実務経験	国際線CAとして勤務		
対象学科・学年	エアライン科1年生						
授業概要	航空業界の就職試験では第一印象が非常に重要である。「人は見た目が9割」と言われるほど、印象により合否が左右するといっても過言ではない。第一印象の基本、外見力(ヘアメイク・表情・立ち居振る舞い・発声等)、内面力(ホスピタリティ精神・奉仕精神・躍進力等)を鍛え、やる気と活発さ、また洗練された雰囲気を持ち主になることを目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法: ○ その他: △		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			大きく、笑声で、返事、発表が出来る	
			○			清潔感のある身嗜み(ヘアメイク・スーツの着こなし)を保つことが出来る	
	○	○	○			印象の基礎知識を理解し、それをまとめ発表することが出来る	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第一印象とは				授業で学んだことを復習する(0.5時間)	
	2	スマイルトレーニング [Ⓜ]				授業で学んだことを復習する(0.5時間)	
	3	0.5秒の印象について				授業で学んだことを復習する(0.5時間)	
	4	パーソナルカラー①				授業で学んだことを復習する(0.5時間)	
	5	パーソナルカラー②				授業で学んだことを復習する(0.5時間)	
	6	自分に似合うヘアメイク①				授業で学んだことを復習する(0.5時間)	
	7	自分に似合うヘアメイク②				授業で学んだことを復習する(0.5時間)	
	8	自分に似合うスーツの着こなし				授業で学んだことを復習する(0.5時間)	
	9	発声の仕方①				授業で学んだことを復習する(0.5時間)	
	10	発声の仕方②				授業で学んだことを復習する(0.5時間)	
	11	発表の仕方①				授業で学んだことを復習する(0.5時間)	
	12	発表の仕方②				授業で学んだことを復習する(0.5時間)	
	13	自分に似合うヘアメイク③				授業で学んだことを復習する(0.5時間)	
	14	モチベーションアップ				授業で学んだことを復習する(0.5時間)	
15	レポート発表				授業で学んだことを復習する(0.5時間)		
評価方法	・レポート提出 授業最終日にレポートを提出する(A4サイズレポート用紙1枚)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート提出		◎	○			100%
履修上の注意	授業内容の順番が変更する可能性あり						

科目名	エアライン応用						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	江口・平田		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	江口:国際線・国内線CAとして勤務 平田:国際線GSとして勤務		
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	<p>キャビンアテンダント関連授業:航空機、機内の名称や仕様、インテリア等を把握し、航空機の作りを理解する。飛行機が飛ぶしくみや、現場のCAが使用する用語を習得し、理解することを目指す。</p> <p>グランドスタッフ関連授業:空港や滑走路など施設に関する知識から空港で共に働く他職種への業務理解、国際線の渡航書類など手続きに関する内容まで、地上業務を行う上で必要な知識を習得し理解する。</p>						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					航空機及び機内設備の各部名称を覚え、それが何の役割を果たすか説明できる	
	○					航空用語を正しく覚え、その文言を使用しながら説明できる	
	○					空港施設や滑走路などの名称を覚え、それぞれの役割や特徴を説明することができる	
	○					出発から到着までの業務の流れを理解し、業務内容を説明できる	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	本授業の主旨説明と航空業界の職種理解				授業で学習したことを、十分に復習しておくこと(1時間)	
	2	CA関連授業:航空機の各部名称について				授業で学習したことを、十分に復習しておくこと(1時間)	
	3	CA関連授業:航空機の各部名称と飛ぶ原理について				授業で学習したことを、十分に復習しておくこと(1時間)	
	4	CA関連授業:機内設備について				授業で学習したことを、十分に復習しておくこと(1時間)	
	5	CA関連授業:航空用語について				授業で学習したことを、十分に復習しておくこと(1時間)	
	6	CA関連授業:緊急保安①				授業で学習したことを、十分に復習しておくこと(1時間)	
	7	CA関連授業:緊急保安②				試験に向け十分な学習を行うこと(1時間)	
	8	CA関連授業:試験				特に無し	
	9	GS関連授業:国内外の空港とその特徴について				授業で学習したことを、十分に復習しておくこと(1時間)	
	10	GS関連授業:空港施設、滑走路について				授業で学習したことを、十分に復習しておくこと(1時間)	
	11	GS関連授業:出発・到着の流れ、航空用語について				授業で学習したことを、十分に復習しておくこと(1時間)	
	12	GS関連授業:渡航書類について				授業で学習したことを、十分に復習しておくこと(1時間)	
	13	GS関連授業:空港保安、イレギュラーについて				授業で学習したことを、十分に復習しておくこと(1時間)	
	14	GS関連授業:他職種理解				試験に向け十分な学習を行うこと(1時間)	
15	GS関連授業:試験				特に無し		
評価方法	(1)CA、GSそれぞれの授業の最後に試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記試験	◎	○				100%
履修上の注意							

科目名	キャビンアテンダント業務 I						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	江口 美奈子		
実施年度	2020	実施時期	後期	担当者実務経験	国際線・国内線CAとして勤務		
対象学科・学年	エアライン科1年生						
授業概要	キャビンアテンダント(以下CA)を目指す学生を対象に開講する。国内線CAの日常業務を理解し、知識を習得する。CAんの業務には大きく、保安業務とサービス業務がある。とかくサービス業務がクローズアップされがちだが、CAは保安要員としての役割と自覚が非常に重要である。保安要員としての役割も正確に理解し、知識の習得だけに留まらず、同時に責任ある行動、発言、正義感を育成していくことも目指す。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			清潔感のある身嗜み(ヘアメイク・スーツの着こなし)を保つことができる。	
		○				CA業務の基本知識を説明することができる。	
			○			ドリンクサービス業務を正確に行うことができる。	
		○	○			保安優先の行動が出来る。	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業の心構え・CA業務の基礎知識の理解				習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)	
	2	CA業務の一連の流れの理解(国内線)				習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)	
	3	立居振舞いの練習と実践練習				習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)	
	4	美しい接客用語の習得と実践練習				習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)	
	5	顧客心理(一般のお客様の心理を知る)				習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)	
	6	顧客心理(VIP・多頻度旅客の心理を知る)				習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)	
	7	ドリンクサービス(基本動作)				習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)	
	8	ドリンクサービス(事例あり)				習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)	
	9	ドリンクサービス(事例あり)				習得した知識や動きを復習すること 実技試験まで練習に励むこと(0.5時間)	
	10	機内アナウンスの基本知識(意義・品質・技術)の習得と実践練習				習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)	
	11	保安業務の理解(日常業務の保安業務)				習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)	
	12	安全性チェックの理解と実践練習				習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)	
	13	安全性チェック(事例あり)				習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)	
	14	火災・急減圧・急病人発生・機内準備				習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)	
	15	実技試験(ドリンクサービス)				習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 機内ドリンクサービスの実技試験を授業最終日に行う (チェック項目:第一印象・身嗜み・メイク・所作・基本動作・笑顔・親しみやすさ・手際の良さ) ※笑顔・親しみやすさ・手際の良さに関しては、実フライトでの判断基準を参考にする 数回レポート課題を出す 						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技試験		○	◎			90%
提出物	○	◎		○		10%	
履修上の注意							

科目名	グランドスタッフ業務 I						
科目名(英)	Ground Staff Course I						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	平田 かおり		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	国際線GSとして勤務		
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	グランドスタッフの職種理解を深め、専門性を身に付ける。航空業界の現場で必要とされる知識を習得し 実技を通して接客の技術を磨くことにより、即戦力として活躍できる人材を目指す。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技: ○	※ 主たる方法: ○ その他: △		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
		○				航空業界、グランドスタッフに必要な専門用語を理解し、使用することができる。	
	○	○				グランドスタッフの業務の流れを理解し、それぞれの役割について説明できる。	
				○		正しい言葉遣いやお客様への対応力を身に付け、授業内のロールプレイで実践できる。	
テキスト・教材 参考図書	・エアポートビジネス入門 ・プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	GSの仕事とは・目標設定				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	2	接客に必要な心構え・言葉遣い				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	3	国内線と国際線の違い				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	4	出発業務				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	5	チェックインロールプレイ①				敬語の復習をしておくこと(0.5時間)	
	6	チェックインロールプレイ②				ロールプレイの復習をしておくこと(0.5時間)	
	7	到着業務				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	8	手荷物事故				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	9	特別旅客				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	10	多頻度旅客				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	11	チェックインロールプレイ③				ロールプレイの復習をしておくこと(0.5時間)	
	12	チェックインロールプレイ④				ロールプレイの復習をしておくこと(0.5時間)	
	13	空港アナウンス				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	14	ロードコントロール業務				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)	
15	まとめテスト(筆記)				授業の内容をしっかりと復習して臨むこと(0.5時間)		
評価方法	(1)授業の中で小テストを5回実施する。(2)宿題・レポートを数回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記試験	◎	○				50%
	実技試験		◎	◎	○		50%
履修上の注意							

科目名	AMADEUS I					
科目名(英)	AMADEUS I					
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	宮崎 みゆき 平田 かおり	
実施年度	2020年	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	国際線GSとして勤務	
対象学科・学年	エアライン科・1年					
授業概要	世界トップシェアを誇るAMADEUSシステムで航空券の予約について学び、検定においてSpecialist(初級)の合格を目指す。その中で、航空業界で使用する専門用語(2レター・3レターや機材名など)や航空業界の予約システムについての知識を深め、業界においてマルチに活躍できる人材となることを目標とする。					
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					航空会社2レターや都市・空港の3レターを見え、小テストにおいて満点を取ることができる。
	○					入力エントリを習得し、予約操作を一人で行うことができる。
		○				入力エントリを問題によって使い分け、応用することができる。
			○			スムーズなタイピングを習得し、60分以内で丁寧に問題を解くことができる。
	○				Specialist(初級)に合格することができる。	
テキスト・教材 参考図書	テキスト:アマデウスユーザーガイド予約、クイックガイド(早見表)、オリジナルプリント					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	アマデウス概要説明、シラバス配布、サインイン・サインアウト			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。(0.5時間)	
	2	情報検索①(各種コード検索、都市・空港・国コード)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。(0.5時間)	
	3	情報検索②(各種コード検索、航空会社・機材コード)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。(0.5時間)	
	4	情報検索まとめテスト			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)	
	5	タイムテーブル			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。(0.5時間)	
	6	ダイレクトアクセス、ヘボン式ローマ字			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。(0.5時間)	
	7	空席照会			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。(0.5時間)	
	8	PNR作成演習①(基本PNR作成、PNRの再表示、PNR中断)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。(0.5時間)	
	9	PNR作成演習②(PNRの取り出し、乗継PNR)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。(0.5時間)	
	10	PNR作成演習③(小児・幼児PNRの作成)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。(0.5時間)	
	11	PNRのキャンセル・修正・変更			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。(0.5時間)	
	12	PNR作成まとめテスト①(基本編)			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)	
	13	SSR・OSI入力(MEAL・FFP・SEAT)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。(0.5時間)	
	14	検定模擬試験①、採点、解説			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。(0.5時間)	
	15	検定模擬試験②、採点、解説			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。(0.5時間)	
	16	検定模擬試験③、採点、解説			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。(0.5時間)	
	17	検定模擬試験④、採点、解説			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。(0.5時間)	
	18	検定前対策			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。(0.5時間)	
	19	定期試験			苦手な点は各自練習を行い検定に臨むこと。(1時間)	
	20	検定振り返り、中級試験概要説明			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。(0.5時間)	
	21	情報検索中級編(フライトインフォメーション、時差)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。(0.5時間)	
	22	情報検索中級編(空席照会、航空会社ルールの検索)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。(0.5時間)	
23	アマデウス振り返り			授業の復習を必ず行うこと。(0.5時間)		
	(1)授業内で定期試験を実施する。(2)検定を受験する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					

評価方法		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○	◎	○		70%
	検定取得状況	◎	○	◎	○		10%
	小テスト	◎	○		○		20%
履修上の注意	特に無し。						

科目名	空港インターンシップ						
科目名(英)	Internship						
単位数	1単位	時間数	40時間	担当者	宮崎みゆき・平田かおり		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	国際線GSとして勤務		
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	学内で3回、実習先で1回の事前研修を実施し、インターンシップに必要とされる基礎知識(専門用語や敬語、社会人としてのマナーなど)を身に付けていく。その後、空港における地上職(グランドスタッフ)の就業体験を通して、実践的スキルを習得する。						
授業形式	講義:	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					空港での接客時に用いる敬語や言い回しを覚え、実際にお客様と会話することができる。	
		○				航空業界用語について学び、実習中にそれらを用いて社員とコミュニケーションをとることができる。	
				○		就業規則を遵守し、社会人としての行動をとることができる。	
		○				個人情報や社外秘の取り扱いについて理解し、各企業のルールに沿って業務できる。	
	○					自ら仕事を見つけ、社員に対して改善点を提案することができる。	
テキスト・教材 参考図書	オリジナルプリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	エアラインゼミ(実習前研修)①身だしなみ、シフト作成、専門用語の確認			プリントを事前に読んでおくこと。(0.5時間)		
	2	エアラインゼミ(実習前研修)②挨拶、緊急時の連絡方法、貨と物の管理			プリントを事前に読んでおくこと。(0.5時間)		
	3	エアラインゼミ(実習前研修)③実習先企業でのオリエンテーション			プリントを事前に読んでおくこと。(0.5時間)		
	4	エアラインゼミ(実習前研修)④確認テスト、接客ロールプレイ			プリントを事前に読んでおくこと。(0.5時間)		
	5~	各企業でのインターンシップ			シフト表を確認し、業務内容を把握しておくこと。		
評価方法	(1)事前研修最終日に2レター・3レター・用語の確認テストを実施する。(2)月に15~20日程度出勤をし、お客様のご案内やオフィス内業務を行う。 評価は合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出勤状況				○		100%
履修上の注意	事前研修最終日に実施する確認テストで9割以上正解しないと、インターンシップに参加できない場合がある。						

科目名	実用英語 I B					
科目名(英)	Practical English I B					
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	宮崎 みゆき	
実施年度	令和2年度	実施時期	後期	担当者実務経験	空港にて国際線グランドスタッフとして勤務	
対象学科・学年	エアライン科1年					
授業概要	航空業界という国際的なステージで活躍するためには、英語運用能力を十分に習得しておく必要がある。そのため、航空業界の就職においては、応募条件として英語能力を掲げられている(TOEICがCA:600点以上、GS:550点以上)。実際に現場では、旅客への対応だけでなく、海外スタッフとのコミュニケーションをとったり渡航書類の確認したりと、業務において英語を活用する頻度は高い。この授業では、TOEIC730点以上の取得を目指し、問題演習を通じて英語運用能力を高めていく。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				社会性のある内容の文章を理解することができる。(読む) ・自分の仕事に関連した日常業務のやりかたについての説明を理解できる。 ・次回ミーティングが、いつ、どこで行われるかについての説明を理解できる。
	○	○				社会性のある内容を聞いて理解することができる。(聞く) ・留守電のメッセージを聞き、相手の要件や電話番号等が聞き取れる。 ・入国管理官に、滞り場所、期間、旅の目的を英語で聞かれた時、質問が理解できる。
テキスト・教材 参考図書	「公式TOEIC Listening&Readingトレーニング リーディング編・リスニング編」、TOEIC新形式精選模試					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	授業概要説明・単語テストルール説明・Listening/Section1			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	2	Listening/Section2, Reading/Part5・6, 解法確認(品詞問題)			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	3	Listening/Section3, Reading/Part5・6, 解法確認(動詞問題)			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	4	Listening/Section4, Reading/Part5・6, 解法確認(前置詞・接続詞問題)			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	5	Listening/Section5, Reading/Part7, 解法確認(読解)			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	6	Listening/Section6, Reading/Part7, 解法確認(読解)			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	7	Listening/Section7, Reading/Part7, 解法確認(読解)			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	8	Listening/Section8, Reading/Part7, 解法確認(読解)			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	9	Listening/Section9, Reading/Section1			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	10	Listening/Section10, Reading/Section2			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	11	Listening/Section11, Reading/Section3			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	12	Listening/Section12, Reading/Section4			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	13	模擬試験①(Reading)			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	14	模擬試験①(Listening)			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	15	模擬試験②(Reading)			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	16	模擬試験②(Listening)			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	17	TOEICまとめ、受験時の注意			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	18	Listening/Section13, Reading/Section5			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	19	Listening/Section14, Reading/Section6			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	20	Listening/Section15, Reading/Section7			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	21	Listening/Section16, Reading/Section8			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	22	Listening/Section17, Reading/Section9			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	23	Listening/Section18, Reading/Section10			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	24	Listening/Section19, Reading/Section11			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
25	Listening/Section20, Reading/Section12			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)		

26	模擬試験③(Reading)	意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)
27	模擬試験③(Listening)	意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)
28	Listening模擬問題①, Reading/Section13	意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)
29	Listening模擬問題②, Reading/Section14	意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)
30	Listening模擬問題③, Reading/Section15	意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)
31	Listening模擬問題④, Reading/Section16	意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)
32	Listening模擬問題⑤, Reading/Section17	意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)
33	Listening模擬問題⑥, Reading/Section18	意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)
34	Listening模擬問題⑦, Reading/Section19	意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)
35	Listening模擬問題⑧, Reading/Section20	意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)
36	模擬試験④(Reading)	意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)
37	模擬試験④(Listening)	意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)
38	模擬試験⑤(Reading)	意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)
39	模擬試験⑤(Listening)	意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)
40	TOEICまとめ、受験時の注意、質疑応答	意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)
41	TOEIC Part別対策のまとめ① - Partごとの解法確認	意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)
42	TOEIC Part別対策のまとめ② - Part別注意事項確認	意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)
43	TOEIC Part別対策のまとめ③ - 時間内に全ての問題を解く	意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)
44	TOEIC Part別対策のまとめ④ - 時間内に解き目標数を正解する	意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)
45	後期まとめ、期末試験について、質疑応答	意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)

評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。(3) 数回、小テストや課題を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	検定取得状況	◎	○				30%
	小テスト・課題	◎	○		○		10%
履修上の注意	授業中に小テストを受験できなかった学生は、必ず宮崎へ申し出てください。(別途、対応をします)						

科目名	実用英語 I B					
科目名(英)	Practical English I B					
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	安元 千夏	
実施年度	令和2年度	実施時期	後期	担当者実務経験	空港にて国際線グランドスタッフとして勤務	
対象学科・学年	エアライン科1年					
授業概要	国際化が進む中、航空業界をはじめサービス業界全般で英語能力が求められているため、英語運用能力の向上を目指す。それをはかる代表的な資格として、実用英語検定2級の取得を目標とする。またTOEIC500点以上取得を目指し、分野別問題解法ポイントを習得していく。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				高校卒業程度の基礎文法を理解し、文脈を正しく捉え読解できる。
	○	○				会話文・アナウンスの聞き取りを強化し、リスニング力を身に付ける。
	○	○				基本構文を用いた文章作成能力を高め、英作文力を身に付ける。
	○	○				ビジネス英語の基本語彙を身に付け、TOEIC頻出単語を覚える。
	○	○				通常会話で最低限のコミュニケーションをとることができるリスニング力を身に付ける。
テキスト・教材 参考図書	英検2級過去問題、プリント、TOEIC対策問題集					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	レベルチェックテスト			特になし	
	2	語彙問題、リスニング				
	3	会話文問題、長文問題、リスニング			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	4	長文問題、リスニング			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	5	語彙問題、リスニング			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	6	会話文問題、英作文対策、リスニング			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	7	長文問題、リスニング			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	8	英検対策まとめ			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	9	TOEIC part5基礎、リスニングpart1対策(解法の確認)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	10	TOEIC part5基礎、リスニングpart1対策(重要文法の確認)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	11	TOEIC part5基礎、リスニングpart1対策(基礎問題演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	12	TOEIC part5基礎、リスニングpart1対策(模擬問題演習)			模試の復習(1時間)	
	13	TOEIC part6基礎、リスニングpart1対策(解法の確認)			模試の復習(1時間)	
	14	TOEIC part6基礎、リスニングpart1対策(重要文法の確認)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	15	TOEIC part6基礎、リスニングpart1対策(問題演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	16	TOEIC part7基礎、リスニングpart2対策(解法の確認)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	17	TOEIC part7基礎、リスニングpart2対策(重要文法の確認)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	18	TOEIC part7基礎、リスニングpart2対策(基礎問題演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	19	TOEIC part7基礎、リスニングpart2対策(基礎問題演習②)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	20	TOEIC part7基礎、リスニングpart2対策(応用問題演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	21	TOEIC part7基礎、リスニングpart2対策(応用問題演習②)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	22	TOEIC part7基礎、リスニングpart2対策(模擬問題演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	23	TOEIC part7基礎、リスニングpart2対策(模擬問題演習②)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	24	TOEIC part5応用、リスニングpart3対策①			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	25	TOEIC part5応用、リスニングpart3対策②			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	26	TOEIC part5応用、リスニングpart3対策③			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	

27	TOEIC part6応用、リスニングpart4対策①	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
28	TOEIC part6応用、リスニングpart4対策②	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
29	TOEIC part7応用、リスニングpart4対策①	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
30	TOEIC part7応用、リスニングpart4対策②	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
31	Part別解法のまとめ	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
32	模擬試験①(リスニング)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
33	模擬試験①(リーディング)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
34	模擬試験②(リスニング)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
35	模擬試験②(リーディング)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
36	模擬試験③(リスニング)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
37	模擬試験③(リーディング)	模試の復習(1時間)					
38	模擬試験④(リスニング)	模試の復習(1時間)					
39	模擬試験④(リーディング)	模試の復習(1時間)					
40	TOEIC総復習、受験時の注意	模試の復習(1時間)					
41	語彙問題、リスニング	模試の復習(1時間)					
42	会話文問題、長文問題、リスニング	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
43	長文問題、リスニング	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
44	模擬試験①	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
45	模擬試験②	授業の復習(1時間)					
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。(3) 数回、小テストや課題を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	検定取得状況	◎	○				30%
	小テスト・課題	◎	○		○		10%
履修上の注意	課題の提出状況や授業中の取り組み姿勢も平常点として評価考慮するため、日々の定着学習を心掛けること。						

科目名	実用英語 I B					
科目名(英)	Practical English I B					
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	玉川 久美子	
実施年度	令和2年度	実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	エアライン科1年					
授業概要	国際化が進む社会の専門性として、日常英会話にとどまらず、より専門的な分野で通用する高いレベルの情報処理能力を念頭に業務を行うことが求められている。限られた時間の中で正確、かつ迅速に対応し、社会で必要とされる英語力に見合った力をつけることが重要である。この授業では、英語運用能力を測る代表的な資格である英検、TOEICの高資格取得を目指し、問題演習を通して英語の4技能を伸ばしていく。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					文法、語法、語彙を学び、英文を正しく読み取ることが出来る。
	○					英語を聴くことに慣れ、意味を聞き取り、特定状況の中で使用するフレーズを選択することが出来る。
		○				ビジネスの背景知識を身につけるためにも日頃から新聞、ニュースに触れることで、知識や一般常識を活用できるようにする。
テキスト・教材 参考図書	・旺文社 実用英語2級問題集、英語検定協会 過去問題 ・国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC公式問題集					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	動機付けー英検2級能力判別テスト			学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	2	解法ポイントの理解ーリスニング、語彙・文法、会話文			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	3	解法ポイントの理解ーリスニング、語彙・文法、長文読解			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	4	解法ポイントの理解ーリスニング、英作文			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	5	総合模試対策①ーリスニング、語彙・文法、長文読解、英作文			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	6	総合模試対策②ーリスニング、語彙・文法、長文読解、英作文			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	7	総合模試対策③ーリスニング、語彙・文法、長文読解、英作文			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	8	まとめ&質疑応答			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	9	TOEIC動機付けー文章中の情報をもとに構文ポイントを理解			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	10	構文の理解ー主述の一致、格、時制、態、リスニング			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	11	構文の理解ー前置詞、接続詞、リスニング			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	12	構文の理解ー準動詞(動詞を他の品詞に変えたもの)			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	13	構文の理解ー不定詞、動名詞、リスニング			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	14	構文の理解ー分詞、リスニング			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	15	構文の理解ー形容詞、副詞、リスニング			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	16	構文の理解ー慣用表現、形容詞、副詞、リスニング			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	17	構文の理解ー語法、構文、比較、リスニング			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	18	構文の理解ー関係詞、リスニング			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	19	情報を関連づけての読み取り①ーリスニング、長文読解			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	20	情報を関連づけての読み取り②ーリスニング、長文読解			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	21	情報を関連づけての読み取り③ーリスニング、長文読解			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	22	情報を見つけて意味を理解①ーリスニング、長文読解			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	23	情報を見つけて意味を理解②ーリスニング、長文読解			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	24	同義語を理解して言い換え表現ができること①			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	25	同義語を理解して言い換え表現ができること②			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	
	26	総合模試対策①ー限られた時間範囲で問題を解く			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)	

27	総合模試対策①-限られた時間範囲で問題を解く(解説)	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)					
28	総合模試対策①-限られた時間範囲で問題を解く(重要事項確認)	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)					
29	総合模試対策②-限られた時間範囲で問題を解く	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)					
30	総合模試対策②-限られた時間範囲で問題を解く(解説)	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)					
31	総合模試対策②-限られた時間範囲で問題を解く(重要事項確認)	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)					
32	総合模試対策③-限られた時間範囲で問題を解く	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)					
33	総合模試対策③-限られた時間範囲で問題を解く(解説)	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)					
34	総合模試対策③-限られた時間範囲で問題を解く(重要事項確認)	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)					
35	総合模試対策④-限られた時間範囲で問題を解く	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)					
36	総合模試対策④-限られた時間範囲で問題を解く(解説)	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)					
37	総合模試対策④-限られた時間範囲で問題を解く(重要事項確認)	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)					
38	総合模試対策⑤-限られた時間範囲で問題を解く	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)					
39	総合模試対策⑥-限られた時間範囲で問題を解く	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)					
40	総合模試対策⑥-限られた時間範囲で問題を解く(重要事項確認)	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)					
41	解法ポイントの理解-リスニング、語彙・文法、長文読解	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)					
42	解法ポイントの理解-リスニング、長文読解	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)					
43	解法ポイントの理解-リスニング、英作文	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)					
44	総合模試対策-リスニング、語彙・文法、長文読解、英作文	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)					
45	まとめ & 質疑応答	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)					
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。(3) 数回、小テストや課題を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	検定取得状況	◎	○				30%
	小テスト・課題	◎	○		○		10%
履修上の注意	課題の提出状況や授業中の取り組み姿勢も平常点として評価考慮するため、日々の定着学習を心掛けること。						

科目名	実用英語 I B					
科目名(英)	Practical English I B					
単位数	6	時間数	90時間	担当者	村上 舞	
実施年度	2020	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	国際線客室乗務員として勤務	
対象学科・学年	エアライン科 1年					
授業概要	国際化が進む社会の専門性として、日常英会話にとどまらず、より専門的な分野で通用する高いレベルの情報処理能力を念頭に業務を行うことが求められている。限られた時間の中で正確、かつ迅速に対応し、社会で必要とされる英語力に見合った力をつけることが重要である。この授業では、英語運用能力を測る代表的な資格である英検、TOEICの高資格取得を目指し、問題演習を通して英語の4技能を伸ばしていく。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法: ○ その他: △	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				時制や現在完了、受動態などの文法を理解し、説明することが出来る。
	○	○				会話、アナウンスの聞き取ることが出来る。
	○	○				基本構文を用いた文章作成をし、英検2級レベルの英作文を書けるようにする。
	○	○				ビジネス英語の基本語彙を使った英文を読み取ることが出来る。
テキスト・教材 参考図書	・旺文社 実用英語準2級問題集、英語検定協会 過去問題 ・桐原書店 TOEIC L&Rテスト書き込みドリル					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	英検2級チェックテスト			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)	
	2	英文法① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)	
	3	英文法② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)	
	4	英文法③ リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)	
	5	重要名詞① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)	
	6	重要名詞② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)	
	7	重要動詞① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)	
	8	重要動詞② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)	
	9	重要形容詞 リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)	
	10	重要副詞 リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)	
	11	覚えておきたい接頭語、接尾語 リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)	
	12	重要前置詞とフレーズ① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)	
	13	重要前置詞とフレーズ② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)	
	14	重要前置詞とフレーズ③ リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)	
	15	重要前置詞とフレーズ④ リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)	
	16	不定詞と動名詞 リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)	
	17	関係詞 リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)	
	18	ライティング対策① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)	
	19	ライティング対策② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)	
	20	中間テスト			テスト範囲をしっかりと勉強して試験対策を行うこと。(1時間)	
	21	英検2級振り返り TOEICチェックテスト			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)	
	22	TOEIC対策 品詞① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)	
	23	TOEIC対策 品詞② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)	
	24	TOEIC対策 品詞③ リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)	
	25	TOEIC対策 代名詞 リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)	
26	TOEIC対策 関係代名詞① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)		

	27	TOEIC対策 関係代名詞② リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)				
	28	TOEIC対策 接続詞、前置詞① リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)				
	29	TOEIC対策 接続詞、前置詞② リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)				
	30	TOEIC対策 動詞① リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)				
	31	TOEIC対策 動詞② リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)				
	32	TOEIC対策 表、用紙 リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)				
	33	TOEIC対策 手紙、Eメール リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)				
	34	TOEIC対策 広告 リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)				
	35	TOEIC対策 ダブルパッセージ① リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)				
	36	TOEIC対策 ダブルパッセージ② リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)				
	37	TOEIC対策 part5演習① リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)				
	38	TOEIC対策 part5演習② リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)				
	39	TOEIC対策 part5演習③ リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)				
	40	TOEIC対策 part6演習① リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)				
	41	TOEIC対策 part6演習② リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)				
	42	TOEIC対策 part6演習③ リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)				
	43	TOEIC対策 part7演習① リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)				
	44	TOEIC対策 part7演習② リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)				
	45	TOEIC対策 part7演習③ リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(1時間)				
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。(3) 数回、小テストや課題を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	検定取得状況	◎	○				30%
	小テスト・課題	◎	○		○		10%
履修上の注意							

科目名	実用英語 I B					
科目名(英)	Practical English I B					
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	中山 久豪	
実施年度	令和2年度	実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	エアライン科1年					
授業概要	国際化が進む中、航空業界をはじめサービス業界全般で英語能力が求められているため、基礎力の向上を目指す。英語運用能力を測る代表的な資格として、実用英語検定準2級の取得を目標とする。またTOEIC受験において、分野別問題解法ポイントを習得する。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				中学卒業程度の基礎文法を理解し、文脈を正しく捉え読解できる。
	○	○				会話文・アナウンスの聞き取りを強化し、リスニング力を身に付ける。
	○	○				基本構文を用いた文章作成能力を高め、英作文力を身に付ける。
	○	○				英検3級、準2級頻出単語を覚え、意味を正しく捉えることができる。
テキスト・教材 参考図書	過去問題、プリント					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法:解法の確認)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	2	英検準2級対策(リスニング、長文読解:解法の確認)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	3	英検準2級対策(リスニング、英作文:解法の確認)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	4	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法:基礎問題演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	5	英検準2級対策(リスニング、長文読解:基礎問題演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	6	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法:応用問題演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	7	模擬試験①			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	8	模擬試験②、対策まとめ・質疑応答			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	9	一次試験の振り返り、二次試験対策			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	10	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法:解法の確認)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	11	英検準2級対策(リスニング、長文読解:解法の確認)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	12	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法:基礎問題演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	13	英検準2級対策(リスニング、長文読解:基礎問題演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	14	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法:応用問題演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	15	英検準2級対策(リスニング、長文読解:応用問題演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	16	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法:過去問題①演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	17	英検準2級対策(リスニング、会話文:過去問題①演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	18	英検準2級対策(リスニング、長文読解:過去問題①演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	19	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法:過去問題②演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	20	英検準2級対策(リスニング、会話文:過去問題②演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	21	英検準2級対策(リスニング、長文読解:過去問題②演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	22	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法:過去問題③演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	23	英検準2級対策(リスニング、会話文:過去問題③演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	24	英検準2級対策(リスニング、長文読解:過去問題③演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
	25	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法:過去問題④演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)	
26	英検準2級対策(リスニング、会話文:過去問題④演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)		

	27	英検準2級対策(リスニング、長文読解:過去問題④演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	28	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法:過去問題④演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	29	英検準2級対策(リスニング、会話文:過去問題④演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	30	英検準2級対策(リスニング、長文読解:過去問題④演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	31	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法:過去問題④演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	32	英検準2級対策(リスニング、会話文:過去問題④演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	33	英検準2級対策(リスニング、長文読解:過去問題④演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	34	英検準2級模擬試験	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	35	TOEIC概要、各Partの解き方について	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	36	TOEIC概要、各Part問題演習①	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	37	TOEIC概要、各Part問題演習②	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	38	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法:過去問題⑤演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	39	英検準2級対策(リスニング、会話文:過去問題⑤演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	40	英検準2級対策(リスニング、長文読解:過去問題⑤演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	41	英検準2級対策(リスニング、英作文:過去問題⑤演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	42	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法:過去問題⑥演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	43	英検準2級対策(リスニング、会話文:過去問題⑥演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	44	英検準2級対策(リスニング、長文読解:過去問題⑥演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	45	英検準2級対策(リスニング、英作文:過去問題⑥演習)	授業の復習(1時間)				
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。(3) 数回、小テストや課題を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	検定取得状況	◎	○				30%
	小テスト・課題	◎	○		○		10%
履修上の注意	課題の提出状況や授業中の取り組み姿勢も平常点として評価考慮するため、日々の定着学習を心掛けること。						

科目名	総合英語 I B						
科目名(英)	General English I B						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	村上 正雄		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	航空業界という国際的なステージで十分に活躍できる英語運用能力を付ける必要がある。特に航空業界においては、TOEICのスコア(CA:600点以上、GS:550点以上)が応募条件の1つとなっている。この授業では、前期で学んだ品詞や基礎文法を活用し、文法への理解をさらに深めていく。また、Part5,6の問題演習を行い、各項目ごとのアプローチ方法を学んでいく。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					各品詞の働きを理解し、TOEIC Part.5/6の問題で正しい選択肢を選ぶことができる。	
	○					TOEIC730点レベルの単語の意味を覚え、正しくスペリング・発音ができる。	
		○				基本5文型を理解し、英文を正しく解釈して意味をとることができる。	
		○				TOEIC Part.5/6に頻出の問題タイプを把握しておき、すぐに解法を判断できる。	
テキスト・教材 参考図書	未定						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	シラバス説明、ポキャブラリーコンテスト説明、基本品詞の復習				特になし。	
	2	基本品詞の復習①(名詞・動詞・形容詞・副詞)				前回の復習をしておくこと。 単語テストの準備をしておくこと。(1時間)	
	3	基本品詞の復習②(代名詞・前置詞・接続詞)				前回の復習をしておくこと。 単語テストの準備をしておくこと。(1時間)	
	4	分詞と不定詞①				前回の復習をしておくこと。 単語テストの準備をしておくこと。(1時間)	
	5	分詞と不定詞②				前回の復習をしておくこと。 単語テストの準備をしておくこと。(1時間)	
	6	Part5,6問題演習				前回の復習をしておくこと。 単語テストの準備をしておくこと。(1時間)	
	7	関係詞①				前回の復習をしておくこと。 単語テストの準備をしておくこと。(1時間)	
	8	関係詞②				前回の復習をしておくこと。 単語テストの準備をしておくこと。(1時間)	
	9	Part5,6問題演習				前回の復習をしておくこと。 単語テストの準備をしておくこと。(1時間)	
	10	仮定法①				前回の復習をしておくこと。 単語テストの準備をしておくこと。(1時間)	
	11	仮定法②				前回の復習をしておくこと。 単語テストの準備をしておくこと。(1時間)	
	12	Part5,6問題演習				前回の復習をしておくこと。 単語テストの準備をしておくこと。(1時間)	
	13	Part5,6問題演習				前回の復習をしておくこと。 単語テストの準備をしておくこと。(1時間)	
	14	第2回ポキャブラリーコンテスト、Part5,6問題演習				前回の復習をしておくこと。 単語テストの準備をしておくこと。(1時間)	
	15	後期まとめ				前回の復習をしておくこと。 単語テストの準備をしておくこと。(1時間)	
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) ポキャブラリーコンテストを実施する。(3) 授業内で小テストを実施する。(4) 数回、宿題を課す。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				70%
	ポキャブラリーコンテストの結果	◎	○		○		20%
	小テスト・宿題				○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語 I B						
科目名(英)	General English I B						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	安元 千夏/中山 久豪		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	航空業界という国際的なステージで十分に活躍できる英語運用能力を付ける必要がある。特に航空業界においては、TOEICのスコア(CA:600点以上、GS:550点以上)が応募条件の1つとなっている。この授業では、まず英語基本文法の復習を行い、英検やTOEICで活用できるようになる。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					各品詞の働きを理解し、TOEIC Part.5/6の問題で正しい選択肢を選ぶことができる。	
	○					TOEIC600点レベルの単語の意味を覚え、正しくスペリング・発音ができる。	
		○				基本5文型を理解し、英文を正しく解釈して意味をとることができる。	
		○				TOEIC Part.5/6に頻出の問題タイプを把握しておき、すぐに解法を判断できる。	
テキスト・教材 参考図書	南雲堂『基礎からの英語入門 First Primer』、朝日新聞出版『TOEIC®L&R TEST出る単特急 金のフレーズ』、オリジナルプリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	シラバス説明、ポキャブラリーコンテスト説明、英検2級ライティングについて			特になし。		
	2	品詞(副詞と形容詞の判別、自動詞と他動詞)、基本品詞問題演習			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。(1時間)		
	3	品詞(名詞、補語になる言葉)、基本品詞問題演習			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。(1時間)		
	4	Part5・6 品詞選択問題の演習			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。(1時間)		
	5	品詞(動名詞と分詞、比較表現)、基本品詞問題演習			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。(1時間)		
	6	動詞(主述の一致、不定詞と動名詞)、基本動詞問題演習			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。(1時間)		
	7	動詞(受動態、時制)、基本動詞問題演習			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。(1時間)		
	8	前半まとめテスト			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。(1時間)		
	9	接続詞と前置詞(句と節の把握)、基本問題演習			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。(1時間)		
	10	接続詞と前置詞(頻出イディオム)、基本問題演習			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。(1時間)		
	11	関係詞(判別の仕方)、基本問題演習			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。(1時間)		
	12	Part5・6 問題演習①			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。(1時間)		
	13	第2回ポキャブラリーコンテスト、Part5対策まとめ			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。(1時間)		
	14	Part5・6演習問題			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。(1時間)		
15	後期まとめ			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。(1時間)			
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) ポキャブラリーコンテストを実施する。(3) 授業内で小テストを実施する。(4) 数回、宿題を課す。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				70%
	ポキャブラリーコンテストの結果	◎	○		○		20%
	小テスト・宿題				○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語 I B						
科目名(英)	General English I B						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	平田 かおり/村上 舞		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	航空業界という国際的なステージで十分に活躍できる英語運用能力を付ける必要がある。特に航空業界においては、TOEICのスコア(CA:600点以上、GS:550点以上)が応募条件の1つとなっている。この授業では、まず英語基本文法の復習を行い、英検やTOEICで活用できるようになる。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				高校中級程度の基礎文法を理解し、文脈を正しく捉え読解できる。	
	○			○		TOEIC頻出単語200語を覚え、意味を正しく選択できる。	
		○				適切な文法と語彙を用いて、英作文を書くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	南雲堂『基礎からの英語入門 First Primer』、朝日新聞出版『TOEIC®L&R TEST出る単特急 金のフレーズ』、オリジナルプリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	レベルチェックテスト			特になし。		
	2	シラバス配布、ボキャブラリーコンテスト説明			特になし。		
	3	単語テスト①、比較			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)		
	4	単語テスト②、命令文・感嘆文			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)		
	5	単語テスト③、接続詞(Ⅰ)			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)		
	6	単語テスト④、不定詞・動名詞			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)		
	7	単語テスト⑤、受動態			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)		
	8	単語テスト⑥、現在完了形			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)		
	9	単語テスト⑦、名詞・冠詞			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)		
	10	単語テスト⑧、接続詞(Ⅱ)			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)		
	11	単語テスト⑨、各種疑問文			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)		
	12	単語テスト⑩、Itの特別用法			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)		
	13	単語テスト⑪、関係代名詞			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)		
	14	第1回ボキャブラリーコンテスト、まとめ問題演習			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)		
	15	前期のまとめ			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)		
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) ボキャブラリーコンテストを実施する。(3) 授業内で小テストを実施する。(4) 数回、宿題を課す。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				70%
	ボキャブラリーコンテストの結果	◎	○		○		20%
	小テスト・宿題				○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	韓国語 I						
科目名(英)	Korean I						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	盧 愛蓮		
実施年度	2020	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	韓国の言葉、読み書き習得を中心に就職活動に役立つよう実力を身につけさせると共に、最も近い隣国である韓国への理解や文化の違いなどを盛り込み、国際人としての識見も備わるよう指導する。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					語彙力を増やし、それぞれの意味について説明することができる。	
		○	○			Listening力を鍛え、意味を理解し答えることができる。	
	○	○				基本の文法を理解し、小テストに合格することができる。	
	○	○				読解力を身に付け、単語や文章の意味を理解し説明することができる。	
テキスト・教材 参考図書	基礎から学ぶ韓国語						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	韓国語について					
	2	基礎 文字づくり①					
	3	基礎 文字づくり②					
	4	基礎 文字づくり③					
	5	基礎 文字づくり④					
	6	基礎 単語、仕組みの中のパッチムについて					
	7	基礎続き 文字慣れ 発音変化 その①					
	8	基礎続き 発音変化②					
	9	1課 挨拶、簡単な自己紹介①					
	10	1課 挨拶、簡単な自己紹介②					
	11	2課 疑問文①					
	12	2課 疑問文②					
	13	3課 否定文①					
	14	3課 否定文②					
15	総まとめ 定期試験対策						
評価方法	1. 授業中に小テストを回実施する。 2. 実力に(抜きん出ている生徒等は授業の他に検定試験に向けての指導をする。過去問題等を解かせたり、先に進めて別テストを行う 3. 授業中に小テストを期末テストと合わせ、平常点として加算する。 4. 成績評価 S(90点以上) A(80点以上) B(70点以上) C(60点以上)D(50点以下)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	小テストや授業態度	◎	○	○	○		50%
履修上の注意							

科目名	中国語 I						
科目名(英)	Chinese I						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	王 波		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	中国語をマスターするための第一歩は発音です。ゆっくり時間をかけてピンインの発音を習得します。その次に、基本的な文法をふまえながら、できるだけ日常生活に合わせた常用語を数多く取り入れ、中国語の文章表現を修得し、応用できるよう学んでいきます。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					語彙力を増やし、それぞれの意味について説明することができる。	
	○	○	○			Listening力を鍛え、意味を理解し答えることができる。	
	○	○				基本の文法を理解し、小テストに合格することができる。	
	○	○				読解力を身に付け、単語や文章の意味を理解し説明することができる。	
テキスト・教材 参考図書	中国語はじめての一步						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	中国語入門 中国語の特徴及び習い方 自己紹介					
	2	自己紹介を復習して、ピンインの発音練習及び四声					
	3	単母音と子音をマスターして、四声を繰り返して、発音の特徴をつ					
	4	前回の復習 複合母音と四声のつけ場所 数字の練習					
	5	ピンインの発音チェックと発音練習					
	6	第1課 文法ポイント 是という判断文の文型					
	7	単語を読みながら、文法に基づいて会話する					
	8	文の解釈と応用プリント					
	9	小テスト 第2課 文法ポイント					
	10	指示代名詞と副詞と疑問詞					
	11	自分の苗字と出身地を中国語で言えるよう、人に聞けるよう					
	12	単語を読みながら、文法に基づいて会話する					
	13	一部の動詞を勉強して、更に会話の実力をアップする					
	14	復習プリント					
15	期末テスト範囲						
評価方法	1. 授業中に小テストを回実施する。 2. 授業中に小テストを期末テストと合わせ、平常点として加算する。 3. 成績評価 S(90点以上) A(80点以上) B(70点以上) C(60点以上)D(50点以下)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	小テストや授業態度	◎	○	○	○		50%
履修上の注意							

科目名	SPI対策 I B					
科目名(英)	Preparation for Synthetic Personality Inventory I B					
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	宮崎・安元・村上・合力・中村	
実施年度	令和2年度	実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	エアライン科1年					
授業概要	航空業界の各企業で実施をされるテストセンターやWEBテスト、ペーパーテスト等の対策として、SPIの頻出テーマの応用問題に取り組んでいく。この授業では、前期に学んだ解き方を活用して、制限時間内に正解を導き出す力を養う。また、WEBテストの四則逆算問題対策として、毎回ドリルに取り組む。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
		○				前期に学んだ解き方を用いて、応用問題を解くことができる。
		○				計算時間を短縮する工夫を学び、目標時間内に問題を解くことができる。
		○				四則逆算の問題を制限時間内に、目標数解くことができる。
				○		SPI非言語分野頻出テーマの問題の解き方を他者に対して説明できる。
テキスト・教材 参考図書	教材:「最新最強のSPIクリア問題集」成美堂出版					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	第1回レベルチェック(クラス分け)テスト			後期使用テキストで、SPIの主な問題範囲を確認しておくこと。(0.5時間)	
	2	仕事算(基礎問題)			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(0.5時間)	
	3	仕事算(応用問題)、鶴亀算(基礎問題)			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)	
	4	鶴亀算(応用問題)、損益算(基礎問題)			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)	
	5	損益算(応用問題)			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)	
	6	復習・実践問題演習①(仕事算・鶴亀算・損益算)			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)	
	7	速さ(時刻表)			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)	
	8	速さ(旅人算)			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)	
	9	場合の数			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)	
	10	復習・問題演習②(速さ・場合の数)			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)	
	11	確率			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)	
	12	確率・割引料金と精算			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)	
	13	割合(分割払い)			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)	
	14	復習・問題演習③(確率・割引料金と精算・割合)			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)	
	15	前半のまとめ			テスト範囲を勉強しておくこと。(2時間)	
	16	第2回レベルチェック(クラス分け)テスト			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)	
	17	推論①(基礎問題)、二語関係①(設問と同じ関係になる語の選択)			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)	
	18	推論①(応用問題)、二語関係②(設問と同じ関係の対の選択)			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)	
	19	推論②(基礎問題)、語句の用法			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)	
	20	推論②(応用問題)、短文の意味			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)	
	21	復習・問題演習④(推論・二語の関係・語句の用法と意味)			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)	
	22	推論③(基礎問題)、短文の穴埋め			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)	
	23	推論③(応用問題)、文章整序			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)	
	24	推論④(応用問題)、空欄補充			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)	
	25	復習・問題演習(推論・言語問題)			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)	
	26	図表の読み取り①(基礎問題)			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)	

	27	図表の読み取り②(応用問題)	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)				
	28	集合	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)				
	29	後期まとめ	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)				
	30	就職筆記試験対策	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)				
評価方法	(1)授業の中で小テストを数回実施する。(2)宿題を課す。(3)中間テストとして、第2回レベルチェックテストを実施する。 (4)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				80%
	中間テスト (第2回レベルチェックテスト)	◎	◎				10%
	出席回数・宿題・確認テスト等	○			◎		10%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	一般教養 I B						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	宮崎 みゆき		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年							
授業概要	就職試験問題に対応できる基礎力を養成する。国語・数学・英語・社会における一般常識力を身に付け実際の企業の採用試験に解答できる能力の養成を目指す。						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	○				漢字検定準2級程度の漢字までの読み書きができる		
	○				方程式・因数分解などの問題を理解し解答することができる		
	○				英検準2級程度の問題に解答することができる		
	○				日本をはじめとした主要国の地理や政治についての基礎的な内容を理解し説明ができる		
テキスト・教材 参考図書	「専門学校生のための一般常識トレーニング」 一ツ橋出版 第4版 2013年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	シラバス説明、第3回実力テスト				次回学習部分に目を通しておく(0.5時間)	
	2	ROUND11: 漢字の知識、国際組織、英単語の知識				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	3	ROUND12: 英文和訳、国税・地方税、漢字の知識、歴史				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	4	ROUND13: 四字熟語、社会保障制度、各国の貿易 ROUND14: 方程式、各国の歴史、英語(単・熟語の知識)				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	5	ROUND14: 社会(政治・経済) ROUND15: 漢字の知識、英語(単・熟語の知識、並べ替え)、国会について				次回の確認テストの準備として「気になるニュース」について考えをまとめる(0.5時間)	
	6	ROUND11~15 確認テスト				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	7	ROUND16: 漢字の知識、歴史、図形の面積・体積				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	8	第4回実力テスト ROUND17: 日本語・英語のことわざ				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	9	ROUND17: 歴史、英文和訳、文学史				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	10	ROUND18: 経済、名数、短歌・俳句				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	11	ROUND19: 漢字の知識、英単語の知識、人口の推移				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	12	ROUND20: 漢字の知識、英文補充、歴史				次回の確認テストの準備として「気になるニュース」について考えをまとめる(0.5時間)	
	13	ROUND16~20 確認テスト				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	14	ROUND11~20 総まとめ				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
15	試験対策				試験範囲の部分の復習(1.5時間)		
評価方法	(1)定期試験 (2)小テスト (3)出席状況 以上を下記の観点・割合で評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	○		○		80%
	小テスト(筆記・2回)	◎	○		○		10%
	出席状況				○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	社会教養 I B					
科目名(英)						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	宮崎・安元・村上	
実施年度	令和2年度	実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	エアライン科1年					
授業概要	① 東京研修振り返り発表会において、各グループで協力し合って資料を作成し、プレゼンテーションする。 ② 就職試験に向けた必要な準備の仕方を学び、期限内に必要な行動をとることができる。 ③ 求職票を提出し、求職票受付面接に合格することができる。 ④ 就職活動のための業界・職種研究に取り組み、情報収集の仕方について学び、実践することができる。					
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
		○		○		東京研修振り返り発表会にて、資料作成をし発表することができる。
				○		就職試験に向けた準備の仕方を理解し、必要な準備を期限内にすることができる。
		○		○		求職票を提出し、求職票受付面接に合格することができる。
			○	○		就職面接時の立ち居振る舞い、発言方法の基本を理解し、行動できる。
テキスト・教材 参考図書	なし					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	就職活動準備期の過ごし方/後期委員会決め				
	2	就職活動斡旋規定/求職票受付面接概要/自己PR作成			求職票の書き方を復習しておくこと。(1時間)	
	3	求職票の書き方/業界・職種への志望動機作成			求職票の下書きをすること。(1時間)	
	4	1・2年生交流会			質問内容を事前に準備すること。(1時間)	
	5	自己PR作成/求職票の書き方			自己PRとして活用できる自身のエピソードをまとめておくこと。(1時間)	
	6	東京研修振り返り発表会			各グループで事前準備をしておくこと。(1時間)	
	7	就職実務 — 求職票受付面接でよく聞かれる質問集を確認			指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)	
	8	就職実務 — 自己PRの作成(自己PRのメインテーマを考える)			指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)	
	9	就職実務 — 自己PRの作成(テーマに合うエピソードを考える)			指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)	
	10	就職実務 — 面接練習の受け方・入退室の確認			指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)	
	11	面接練習(1)			指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)	
	12	面接練習(2)			指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)	
	13	面接練習(3)			指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)	
	14	面接練習(4)			指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)	
	15	面接練習(5)			指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)	
	16	面接練習(6)			指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)	
	17	面接練習(7)			指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)	
	18	面接練習(8)			指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)	
	19	面接練習(9)			指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)	
	20	面接練習(10)			指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)	
	21	面接練習(11)			指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)	
	22	面接練習(12)			指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)	
	23	面接練習(13)			指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)	
	24	求職票受付面接			指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)	
	25	企業採用担当者による模擬面接				

	26	就職実務	—	就職活動スケジュール、活動ルールの確認			
	27	就職実務	—	企業説明会の受け方、質問の仕方の確認			
	28	就職実務	—	求人票の見方、企業へのエントリーについて			
	29	就職実務	—	希望職種に合わせた準備の仕方			
	30	後期まとめ					
評価方法	(1)求職票受付面接の可否 (2)作文を提出する (3)就職関連の提出物を数回課す。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	提出物		○		○		40%
	求職票受付面接		○		○		40%
	作文				○		10%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、単位を与えない。						